

外国機関との協力



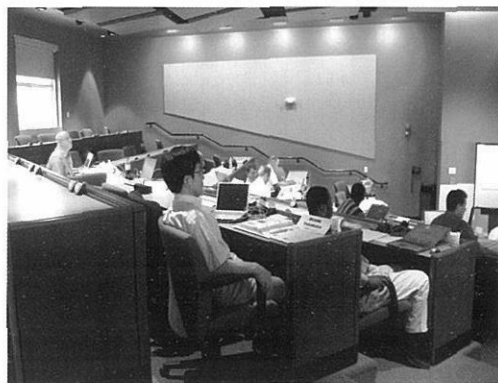
中国民用航空総局との覚書締結

航空・鉄道事故調査委員会は、事故調査に関して国際的に幅広い意見交換を行い、連携を深めることを目的として、平成6年9月から、航空事故調査に関する国際組織「国際航空事故調査員連合(ISASI)」に、平成18年5月からは、航空・鉄道他各モードの事故調査に関して、独立性を持った調査機関により構成される国際組織「国際運輸安全

連合(ITSA)」に、それぞれ加盟して、活発な情報交換を行っています。

また、各国の事故調査機関である、フランス(BEA)、オーストラリア(ATSB)、韓国(ARAIB)及び中国(CAAC-AS)と覚書を取り交わし、相互に協力を行うこととしています。

研修の分野では、国際協力機構(JICA)、海洋政策研究財団(シップ・アンド・オーシャン財団)を通じて、アジア各国の事故調査官を受け入れて研修を実施する一方、当委員会の事故調査官を米国国家運輸安全委員会(NTSB)主宰のセミナーや英国クランフィールド大学等での研修に派遣しています。



NTSBでの研修模様